

ミニベックス

~みどころ紹介~

1.

3/1(土)~2(日)

第16回テーマティク研究会切手展

▽概要

本展では、当研究会会員の特定の作品をテーマとしています。本年のメイン作品は、「EXPO 2025 大阪・関西万博」開催を記念して、JAPEX2024でベスト・オープン賞を受賞した犬飼英明さんの「日本万博開催史」①です。

また、メイン作品の出品者によるデザイン案をもとに、小型印、フレーム切手、FDC用の封筒、ポストカードを毎回作成しています。

小型印以外のデザインは、出品者の原案をもとに、会員でもあるデザイナーの小林 有さんが担当しています。

さらに恒例行事として、会期最終日(3月2日)に、「郵趣カンファレンス」と「合評会」を開催しています。近年の郵趣カンファレンスでは、メイン作品にちなんだ内藤陽介さんによる講演会を行ってきました。今回は万博をテーマにお話しいただく予定です。



会期 | 2025年3月1日(土) - 2日(日)
会場 | 3階スペース1, 2
時間 | 10:30 - 17:00

▽展示内容・みどころ

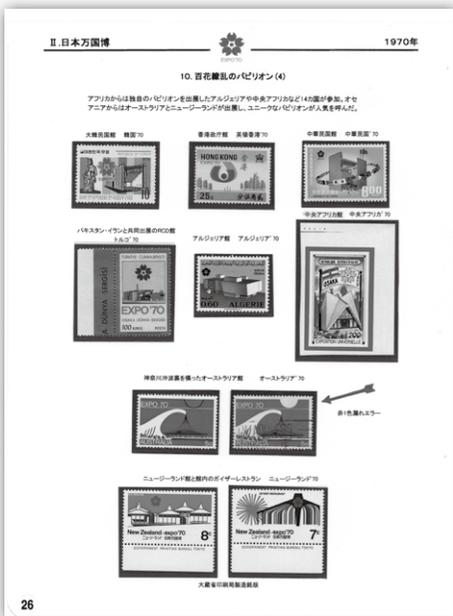
上述の郵趣カンファレンスは収集分野に関係なく理解できる内容が多いので、お気軽にご参加ください。さらに合評会では、FIP(国際郵趣連盟)審査員2名を含む会員による講評が行われます。当研究会では、国内外の競争切手展への出品を通して、作品の向上を目指しています。今回は、羽賀正雄さんによるJAPEX2024小倉謙賞受

賞作品「木材について語る —その生産・加工・利用と持続的発展」、嘉ノ海暁子さんによるCHINA 2024出品作品「Floriculture - Its Development Process and Uses of Garden Plants」②などに加えて、今後競争展へ出品される予定の作品も展示します。

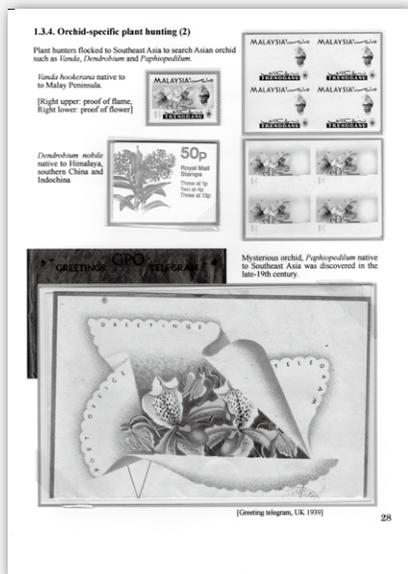
また、多くの方に理解していただける作品も展示します。例えば、虎頭雄彦さんのトピカル郵趣作品

「和の文様」や、私の「Chess on Ice カーリング」です。拙作は、国内外ともに出品が低調な、テーマティク郵趣の1フレームクラスにおける研究材料という意味合いもあります。その意図は、①「1フレーム作品に適切な主題」の検討方法と、②主題にまつわる郵趣品の乏しい場合の対応方法の実例を示すことにあります。詳しくは合評会にご参加ください。(文・榎澤祐一)

※郵趣カンファレンスと合評会の詳しい開催情報は、3月号のイベント・スケジュールをご覧ください。



①メイン作品である犬飼英明さんの「日本万博開催史」より。



②嘉ノ海暁子さんの作品より、ランハンターのアジアでの活動をまとめたリーフ。